

踏 み 跡 < My mountains >

丹沢	水無川本谷遊行	No.074
----	---------	--------

昭和41年11月20日(快晴)

秋の丹沢、渋沢駅のプラットホームに降り立った時、電車の行く手に見える白く雪化粧した富士を見ると、それだけで夏の間は混雑を避けて敬遠していた自分が納得できる。

おそらく夏ではどんなに天気が良くても、富士山がこんなに近く大きく見えることはないだろう。

自分が北斎ならば、三十六枚の絵にこの景色を加えても悪くないと思っている。

大倉から水無川林道を戸沢出合いにある林道終点まで行くと9時10分。水の音の響きがこのほか快適に感じるのは、快晴で空気中に水分が少ないせいだろうか。

ここから沢に入るが、源次郎の出合いを過ぎてしばらく行くまでは滝は殆どなく、単調なゴーロと小滝のみ。F2の右手二段の小バンドのヘヅリが、乏しいホールドで苦しかった他はほとんど誰にでも登れる滝ばかりで、ミーちゃんやハーちゃんが来ていたのには愕然とした。

時間も充分にあるので、久しぶりに塔ノ岳(1491m)まで行ってみた。12時30分、時刻のせいもあるのかもしれないが、人間ばかりやたらに多くて富士の端麗な容姿も薄れがちだった。寒くもあるし騒々しいのですぐに大倉尾根に向かった。

とりあえず花立ノ頭(1370m)まで下って、三ノ塔をスケッチしてから、源次郎尾根を下って、13時55分に戸沢出合いへ戻った。

沢登りに来た連中の殆どがもう下ってくる時間で、元気なパーティはもう一本沢登りをしに出かけているようだが、こちらは河原で昼寝をして14時20分に下山開始。

以上

(修正・更新:2023年11月)

